

科目区分	基礎科目		
授業科目名	動物実験技術		
担当者名	責任者	関 信輔	分担者
単位数	1単位(選択)	配当年次	1年次
授業形態	講義:1~5, 実験実習:6~15	実施場所	授業計画の[実施場所]を参照
開講期間	2026年6月~2026年9月(日程の詳細は科目履修登録終了後にメールにて連絡)		
開講曜日・時間	(開講曜日・時間は応相談)		
授業の概要・到達目標			
<p>授業の目的:医学の教育・研究に必要不可欠である動物実験について,理解することを目的とする。 授業の到達目標:動物実験に対する正しい知識や技術を習得し,動物福祉の理念を理解することを目標とする。</p>			
授業計画			
	授業の概要及び到達目標 (授業内容)	担当教員名	講座名 [実施場所]
1	動物実験を取り巻く状況と関連法規	関 信輔	バイオサイエンス教育・ 研究サポートセンター 動物実験部門 〔部門セミナー室あるいは ZOOMを用いた遠隔講義〕
2	適正な動物実験	関 信輔	
3	動物実験の意義	関 信輔	
4	遺伝子組換え動物実験, 遺伝子工学 I	関 信輔	
5	遺伝子組換え動物実験, 遺伝子工学 II	関 信輔	
6	マウス基本的実験技術 I (保定, 馴化, 腹腔内投与)	関 信輔	バイオサイエンス教育・ 研究サポートセンター 動物実験部門 〔各動物実験室あるいは部 門研究室〕
7	マウス基本的実験技術 II (各種投与, 麻酔, 外科的手術)	関 信輔	
8	マウス基本的実験技術 III(解剖)	関 信輔	
9	ラット基本的実験技術 I (採血, 投与, 麻酔, 外科的手術など)	関 信輔	
10	ラット基本的実験技術 II (解剖など)	関 信輔	
11	ウサギ基本的実験技術 (投与など)	関 信輔	
12	精子の凍結保存	関 信輔	
13	過排卵誘起, 体外受精	関 信輔	
14	胚の凍結保存	関 信輔	
15	新たな実験動物である小型魚類	関 信輔	
成績評価の基準と方法			
<p>セミナー室(研究室)での講義および実習30時間+自学自習15時間,計45時間で1単位とし,評価は出席状況と口頭試問および実習の結果を考慮して行う。</p>			
問い合わせ先(氏名, メールアドレス等)			
関 信輔, sseki@gipc.akita-u.ac.jp			
その他特記事項			
<p>履修に関する情報:社会人大学院生など,勤務等で実習に出席できない場合には日程の調整に応じます。 教科書・参考文献:実験動物の技術と応用—入門編・実践編(アドスリー), 新実験動物学(朝倉書店) 自学自習時間における学習内容:到達目標や授業内容に応じた準備学習を行うことが望ましい。</p>			